

多摩六都広域連携プラン

平成23年度～27年度



みどりと
生活の共存圏

平成23年3月

多摩北部都市広域行政圏協議会

小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市

みどりと生活の共存圏をめざして

～多摩六都広域連携プラン策定にあたって～

地理的・歴史的、行政的につながりが深い小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市（平成13(2001)年1月に旧田無市と旧保谷市が合併）は、市民が誇りと愛着を持てる豊かで住みよい一体性のある多摩北部地域を実現するため、昭和62(1987)年3月から多摩北部都市広域行政圏を形成し、個性的で活力ある都市づくりをめざしています。

昭和63(1988)年3月には、圏域がめざす方向を示す「多摩北部都市広域行政圏計画」を策定し、将来像を魅力あふれる圏域「緑と生活の共存圏」として、連携・協調して質の高い行政サービスを提供しています。

魅力あふれる圏域の実現に向けては、自らの取り組みはもとより、国や東京都などの公共に加えて、市民一人ひとりや事業者等の協力があって、はじめて可能となります。

これまでの取り組みにより、都市基盤は徐々に整備されつつあるものの、少子高齢化を見据えた都市経営への転換、地域主権の拡大に向けた取り組み、いまだに多摩地域の平均にも満たない都市基盤整備の状況など、単独では解決が困難な課題や行政区域をまたがる課題、また行政効率や経費面で節減効果が期待できる事務の共同処理など、連携・協調が期待される事案が山積しています。

このような背景を踏まえて、平成18(2006)年度から平成27(2015)年度までの10か年間を期間とする「第二次多摩北部都市広域行政圏計画」に示した将来の都市像「みどりと生活の共存圏」（基本構想）の下に、次なる「多摩六都広域連携プラン」（平成23(2011)年度を始期とする5か年間）を策定しました。

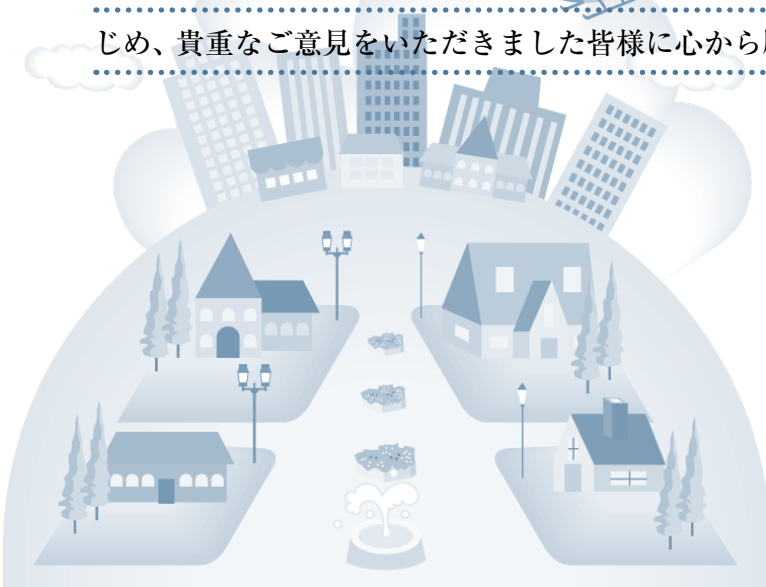
本プランがめざす方向性に沿って、愛着が持てる豊かで住みよい一体性のある多摩北部地域の実現に向けて、あらゆる主体で精力的な行動をお願いいたします。

最後に、「多摩六都広域連携プラン」策定に際して、多摩北部都市広域行政圏協議会審議会をはじめ、貴重なご意見をいただきました皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成23年3月

多摩北部都市広域行政圏協議会

会長	小平市長	小林 正則
	東村山市長	渡部 尚
	清瀬市長	星野 繁
	東久留米市長	馬場 一彦
	西東京市長	坂口 光治



目次

第1章 序論	1
第1節 プラン策定の趣旨	3
第2節 プランの位置づけ	6
第3節 圏域の将来像とプランの体系	7
第4節 プランの推進方策	9
第2章 多摩六都アクションプラン	11
政策目標Ⅰ 豊かな自然を活かした安全で快適な住環境の整備	14
アクション1 水と緑のネットワークが形成された多摩六都	15
アクション2 地球にやさしい循環型・低炭素の多摩六都	21
アクション3 都市基盤が充実した多摩六都	25
政策目標Ⅱ だれもが生き生きと健やかに暮らせる地域の創造	31
アクション4 健康的な暮らしを支援する	32
アクション5 知性と感性を豊かに育む多摩六都	37
政策目標Ⅲ 各市の連携による利便性の高い魅力ある地域の形成	40
アクション6 多摩六都の魅力を発信する	41
アクション7 地域主権に備えた5市の連携推進	47
参考資料	51
第二次多摩北部都市広域行政圏計画基本構想	53
多摩北部都市広域行政圏協議会規約	58
広域行政圏計画専門委員会設置要綱	60
多摩北部都市広域行政圏協議会名簿	61
プラン策定の経過	63